



みゆきレター



平成25年度
就職状況
.....

「自分で考える力」や「社会に出てからも学び続ける力」を
身につけることができるのは“今しかないでしょ!”

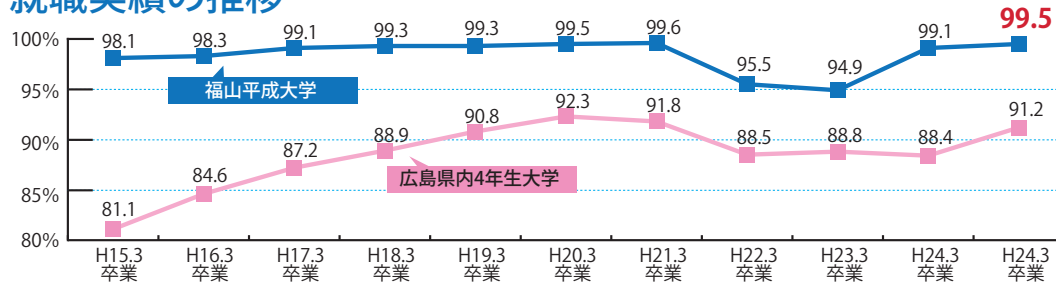
4年間の積み重ねが就職戦線に勝ち残るカギだ!

平成25年3月卒業生

就職内定率

99.5%

就職実績の推移



recruit 1 就職内定率が語る『きめ細やかな就職サポート』

本年3月の本学卒業生の就職は、景気回復の兆しが見え始めた効果に加え、近年の公的機関による求人開拓や就職支援が成果を上げ、就職内定率は前年同期比0.4ポイントアップの99.5%（前年度99.1%）を達成することができました。そして、広島県では前年同月比0.8ポイントアップの91.2%、全国平均では前年同期比0.3ポイントアップの93.9%と前年比大きく改善しました。

一方、一昨年の平成24年3月卒業生の内定実績では、2013年2月18日付け『東洋経済オンライン』に採り上げられ、本学の福祉健康学部が「中国・四国地域別ランキング（文系部門）」で第1位、「全国」文系・理系別ランキング（文系部門）で第14位として掲載されたことを紹介させて頂きました。これも本学の就職指導が教職員一体となったきめ細やかなサポートによってなされた実績が評価された結果だと自負しております。

最新版「大学就職率ランキングベスト100」

「中国・四国」地域別ランキング（文系部門）第1位

「全国」文系・理系別ランキング（文系部門）第14位

調査対象：平成24年3月卒業生

掲載先：東洋経済オンライン（2013.02.18掲載）

データは各大学の就職課などが集計し、寄せられた回答から作成。就職率は就職者数÷（卒業生数－大学院進学者数）で算出。掲載は卒業生100人以上の学部が対象。

医・歯・看護系・獣医学部及び宗教・体育・芸術系学部は除く。家政系及び教育学部は「文系」に、文理融合型の学部については文系・理系の学科数が多いほうへ分類。学部名は旧名称の場合がある。小数点2ケタ以下の差は同率として順位をつけた。

地域別ランキングは、大学本部の所在地による分類。学部キャンパスの所在地と異なることがある。（情報提供元：大学通信社）

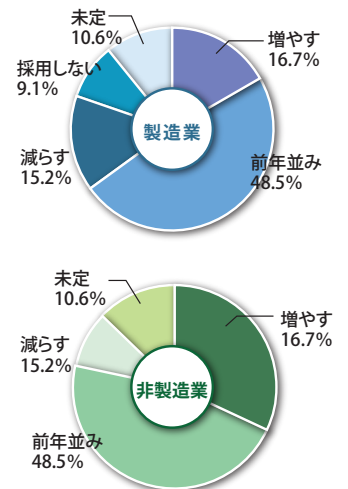
「中国・四国」地域別ランキング（文系部門）

順位	大学名	学部名	就職率
1 私	福山平成大学	健康福祉	94.5%
2 公	山口県立大学	社会福祉	92.7%
3 国	鳴門教育大学	学校教育	92.0%
4 私	くらしき作陽大学	食文化	90.7%
5 公	島根県立大学	総合政策	90.1%
〃 私	ノートルダム清心女子大	人間生活	90.1%
7 私	広島文教女子大学	人間科	89.6%
8 国	香川大学	教育	89.4%
9 国	愛媛大学	教育	88.4%
10 私	安田女子大学	文	88.2%
11 私	ノートルダム清心女子大	文	87.8%
12 国	岡山大学	教育	87.1%
13 国	岡山大学	経済	86.6%
〃 私	川崎医療福祉大学	医療福祉マネジメント	86.6%
15 私	就実大学	人文学	86.4%
16 私	美作大学	生活科	86.1%
17 私	吉備国際大学	社会福祉	85.7%
18 私	広島国際大学	医療福祉	85.6%
〃 私	安田女子大学	現代ビジネス	85.6%
20 国	広島大学	経済（昼間コース）	85.5%

「全国」文系・理系別ランキング（文系部門）

順位	大学名	学部名	就職率
1 私	新潟医療福祉大学	社会福祉	99.4%
2 私	中部学院大学	人間福祉	98.4%
3 公	岩手県立大学	社会福祉	98.0%
4 私	岐阜聖徳学園大学	教育	97.3%
5 私	東京福祉大学	社会福祉	96.9%
6 私	金城大学	社会福祉	96.5%
7 私	東北女子大学	家政	96.2%
8 私	聖隷クリストファー大学	社会福祉	96.1%
9 国	和歌山大学	観光	95.9%
10 私	白梅学園大学	子ども	95.8%
11 私	群馬医療福祉大学	社会福祉	95.5%
12 国	名古屋大学	経済	95.4%
13 国	岐阜大学	教育	95%
14 私	福山平成大学	健康福祉	94.5%
15 公	静岡県立大学	経営情報	94.3%
16 国	一橋大学	商	93.7%
17 公	国際教養大学	国際教養	93.6%
〃 私	日本社会事業大学	社会福祉	93.6%
19 私	北海道文教大学	人間科	93.3%
20 私	椋山女学園大学	教育	93.2%

2014年春採用計画



2013年(平成25年)3月26日 山陽新聞



2013年度の採用計画 二極化か?

2013年度(2014年3月卒)の新卒採用はどうか。山陽新聞が広島、岡山、香川県の主要企業の2014年春の新卒採用アンケートを産業別にまとめた2013年3月28日の記事によりますと、「増やす」としたのは製造業で16.7%(前年調査9.7%)、非製造業で32.1%(同29.1%)。いずれも前年に比べ伸びましたが「アベノミクス」効果による景気回復に期待し非製造業で積極採用が目立つのに対し、製造業は依然慎重な姿勢が見て取れる結果となっています。「増やす」と回答した主に非製造業は、「営業・販売の強化」を掲げるも、足元の円安・株高を受けた景況改善が製造業を中心とした地場企業まで波及していない二極化の様相が見てとれるのではないだろうか。

こうした中、本学学生の動向はどうかと言いますと、残念ながら就職に対する危機意識が希薄であることに加え、「働くこと」の意義・価値について考えたり業界研究を行ったりする学生が多くいないように見受けられます。この4年間の大学生活の中で「自分で考える力」や「社会に出てからも学び続ける力」を身につけながら、自分に合う業種・職種は何なのか、幅広い視野でキャリア形成を考えてほしいものです。就職課では3年生を中心に年間30コマ程度の「就職ガイダンス」を主催し開講しています。これに積極的に出席することはもちろんですが、こういったキャリア教育を通じてエントリーシートの書き方などの就活ノウハウだけを学ぶのではなく、もっと長期的な視点で目標を持ち、「働くことの大切さ」を学びつつ自分の夢を実現させてほしいものです。



「WEB就職支援(学内システム)」 『ゼルコバ』の活用

「就職支援システム(WEB就職支援)」では、学生に入学時から進路希望をWeb入力させるとともに、3年生後期からは学生の希望に合った求人情報をメール配信しています。加えて、学生本人から入社試験の現況並びに結果報告をWeb入力させることにより、学生本人と教職員が共有する情報に基づき、進路が決定されるまで就職支援ができるような指導・相談体制を電算化を通して実現しています。また、この「就職支援システム」では前述以外の機能として、本学に求人をご寄せられた全ての企業情報や求人内容が閲覧できる「企業検索・求人検索」等の機能の他、「卒業生情報」並びに先輩達が就活体験してきたその企業の「活動報告」等、多くの情報が学外からも閲覧可能となっています。

当然のことながら、このシステムの運用と有効活用は今の学生が如何に登録を行い活用していくかそして後輩達にその蓄積したデータベースをいかに引き継いでいくにかかっていますので、必ず情報を登録し活用するようにして下さい。そうすることによって、卒業後も学校との交流の強化が図れるのです。そして、こういった情報をうまく利用すればいくらでも有効な情報は転がっていますし、またこの情報は就職戦線に勝ち残る力ギともなるはず。しっかり活用して下さい。

就活スケジュール

(看護学部は概ね大学4年生からが実質的就活開始となります。)

recruit	大学3年生										大学4年生		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
学校行事	「就職支援システム」の活用:1~4年生は毎学年始めに進路希望情報の登録・見直しを行うことにより、学生の進路希望に合った就職支援を教員と就職課が一体となって行い、3・4年生の就職活動に繋げる。												
	<div> <div>《就職ガイダンス》</div> <div>就活解禁</div> <div>大学主催合同企業説明会</div> <div>就職活動のピーク</div> </div>												
現行の倫理憲章 2015年3月卒(現在の3年生)まで	<div> <div>広報活動</div> <div>採用選考活動</div> </div>												
変更予定の倫理憲章 2016年3月卒(現在の2年生)から変更	<div> <div>広報活動</div> <div>採用選考活動は8月から</div> </div>												



就活のサポート 「親の心得」

学生の中には、父親の勤務先を知らない子がいます。ましてや、親の生年月日を知らない学生はもっと大勢います。一方、学生の業界研究はまず身近な社会人を知ることから始まるのも事実です。では、親は子どもの就活にどうかかわれば良いのでしょうか。毎年同じ内容のことを申し上げていますが、まず

①「親がどんな思いでこれまで働いてきたかや、仕事のやりがいなどを子どもに伝えてほしい」のです。ご両親の職業観や仕事に関する話をすることによって、ご子弟が仕事に就いて考えるきっかけやヒントになるのです。加えて、

②ご家族から見たご子弟のパーソナリティ、行動特性、強み・弱みなどを伝え、自己分析を促すようにしていただきたいのです。更に、

③就職を希望する企業・施設の所在地や勤務地、転勤の有無、福利厚生などのお互いの生活に影響を及ぼすようなことは、予め話合うなどしてライフプランの擦り合わせをしてほしいのです。最後に、

④就職活動がうまくいかない時はなるべく話を聞いてあげて下さい。そして、企業選択では「子どもがどんなプロセスや考えでその会社を選んだかをまず聞く」ように心掛けて下さい。ただ、ここで最も注意しないといけないのは、親の価値観を押し付けたり出しゃばったり焦らせたりすることです。特に、押付けは厳禁です。

メールが普及し、今どきの学生達は目上の人と話す機会も減り会話力が落ちていきます。親子の会話を通じ子どもの得意な面や良さを引出す手助けをしてあげて下さい。

就職課長 戸原 一朗

経営学科

1年 安光 鴻奈



私は、今回の合宿をとおして大学の仲間たちと交流を深め、それによってこれからの大学生活についてよく考えることができました。

まず、1日目の合宿で私は友達とバドミントンをしました。そこで先輩や他の人たちとふれ合うことができました。その夜、自分の部屋に戻り一緒にあった友達と留学生でいろいろな話をしました。自分のことや大学のことなど、話をするうちに打ち解けることができ、留学生に中国のことを教えてもらいました。今まで関わりがなかった中国について少し知る機会ができました。

次の日は、班に分かれてグランドゴルフをしました。今までゴルフをした事がなかったので、どんなものかは分からなかったけれども、やっていく内に慣れていき、班の中で競い合うようになりました。このグランドゴルフの中でも班の人とふれ合い、仲良くなることができ、楽しく活動することができました。

私は、まだこの大学に入っただけで何も分からず、不安なこともたくさんあったので、この合宿を通していろいろな人とふれ合い、仲良くなることができ、友達もできてこれからの大学生活に安心感が持てるようになりました。

福祉学科

1年 中村 悠大



私は、今回の合宿オリエンテーションキャンプに参加する前日、友達ができるのか不安でいっぱいでした。集合場所の教室の扉を開けると優しく明るい先輩方や近くにいた同級生も話しかけてくれて、すぐに友達をつくることができました。合宿先では、キャンプファイヤーで楽しくダンスをしたり、履修相談の時には、自分にわかるように優しく丁寧に教えていただきました。グループに分かれ、一晩過ごす宿に入れば、高校時代の思い出話等に花が咲き、笑顔が絶えない夜でした。

次の日は、グループに分かれて、グランドゴルフ。合宿の終わり頃には、不安を抱いていた自分がいたことなど忘れていました。楽しい合宿にしてください、今こうして不安なく友達と過ごせるのも、企画して下さった先輩方のおかげだと思っています。四年後、夢を叶えられるよう、みんなで励まし合いながら、大学生活を送りたいと思います。

こども学科

1年 黒崎 優人



僕たち一年生は、4月8日、9日に、福山ふれあいランドで合宿オリエンテーションを行いました。入学式から一週間も経っていないこともあり、新しい友達との初めての合宿は、楽しみと不安の両面でドキドキしながらの参加になりました。

キャンプの内容は、学生リーダーの先輩方が企画してくださっていました。一日目は、まず自己紹介から始まりました。ほとんどの人が緊張していたのですが、先輩たちが笑わせてくれ、最後には全員の笑顔を見ることができました。その後は、夜までドッジボールや人間知恵の輪をして、一つのゲームを終えるたびに会話の輪が広がっていき、どんどん仲良くなりました。二日目は、班ごとにカレーを作りました。全員で作業を進めていくうちに、班を超えた交流が生まれ、みんなで協力して美味しいカレーを作ることが出来ました。

今回の合宿オリエンテーションは、先輩方が何カ月も前から企画してくださっていたと聞きました。僕も先輩たちのような学生リーダーになって、後輩たちのために頑張ろうと考えています。この合宿を無駄にしないよう、みんなで協力して4年間の大学生活を有意義に過ごしていこうと思います。

健康スポーツ科学科

1年 土江 友樹



入学時に合宿オリエンテーションがあつて本当に良かったと思います。合宿前は、少し話することができて仲間が良かったと言えようような友達があまりいませんでした。合宿が始まって最初の方は、同じ班の人の名前を覚えるのも大変でした。

しかし、レクリエーションの中で様々なスポーツを一緒に行っていくうちに班の人の名前を自然に覚えることができ、話することも難なくできるようになりました。キックベース、キンボール、長縄跳びなどレクリエーションの中で行ったスポーツはどれも本当に楽しかったですが、それは学生リーダーとして合宿に参加してくれた先輩たちのおかげだと思っています。2日間の合宿でお世話になった学生リーダーには感謝の気持ちでいっぱいです。

学生リーダーは「こういう時はどうしたら良いのか?」「どうしたら楽しんでもらえるか?」など常に私たち1年生のことを考え、場の雰囲気明るくしてくれました。やはり1年生と2~4年生との差は大きいと思いました。合宿中の先輩たちの姿を見ていて、来年は私も学生リーダーとして合宿に参加したいという思いが強くなりました。参加できるならば、先輩たちのように「自分よりも他人のことを先に考えられる人」になりたいです。

看護学科

1年 中原なごみ



新入生オリエンテーションの前夜、「友達ができるかな?」となかなか寝つけませんでした。しかし、クラスメイトや先輩、先生方と話す機会があり、たくさんの友達が出来、とても充実した時間を過ごすことができました。平成25年度の新入生達は、ほとんどの学生が5分前行動ができるため、「さすが、高校時代とは全然違うものだ」と驚きました。私も時間を厳守できるようになりました。

先輩方が企画してくださったレクリエーションでは、グループで話し合ったり、協力したりしながら行いました。グループ間での緊張もほぐれ、とても楽しかったです。キャンドルサービスで、私は「立派な看護師になるため勉強に一生懸命励んでいきます」と誓いました。私はみんなで切磋琢磨して看護師になりたいと強く思いました。バレーの試合では、掛け声をかけたり円陣を組んだりしてなかなか白熱した試合だったと思います。この経験を通して、チームの1人1人の距離が縮まった気がしました。

この1泊2日の新入生オリエンテーションでは、看護についての学びを深め、友達の事も大切にし実りある4年間を過ごしたいと思いました。先生や先輩方の御指導もあり新入生全員が怪我無く帰宅することが出来ました。先生、先輩方、ありがとうございました。そしてこれから新入生一同どうぞよろしくお願い致します。

基礎演習におけるスポーツ実践

健康スポーツ科学科の1年生を対象に開講している「基礎演習」では、大学生に求められる協調性やコミュニケーション能力を磨き、そして目標達成に向けた課題発見力を高める一環として、クラス単位で構成されるチーム対抗での「スポーツ実践」を3週に渡って行っています。

昨年まではバレーボール、バスケットボール、フットサルなどを実施種目に選んでいましたが、こうした部活動でも行われている種目の場合、学生間で経験値や技能に差が出てしまつたのが難点でした。

そこで今年は経験値や技能に差が出ないような「タイヤ渡り」(大中小と大きさの異なるタイヤをタイヤから落ちることなくチーム全員で渡りきる速さを競う競技)、「長縄とび」(制限時間内にチーム全員で跳んだ回数を競う競技)、「8人9脚」(チーム全員が足を組んで結んで横一線に並び50m走のタイムを競う競技)を実施種目とし、学生全員が同じスタートラインに立つて、チーム内で積極的にコミュニケーションを図りながら協力し合い、目標(勝利)に向けた課題設定および課題の解決に取り組めるようにしました。

各チームは、タイヤから落ちることなくより速くタイヤを渡りきるために、時間内でより多く跳ぶために、そして紐で足を結ばれた状態でより速く50mを駆け抜けるために、チーム内でコミュニケーションをとりながら課題を見つけ、その課題の解決に向けて協力し合っていました。例えば、「8人9脚」では、8人の足並みを出来るだけ揃えるために身長差を考慮して並ぶ位置を設定したり、掛け声によって踏み出す足を決めたりするなどの工夫が見られました。



講師 都筑 真

1年生は今後、授業・部活動・アルバイトなど異なる場において、大小様々な目標の達成に向けて課題を発見していくこと、そして課題の解決に向けて仲間と積極的にコミュニケーションを図りながら協力し合うことが求められることでしょうか。そうした時に、「スポーツ実践」を通じて学んだことを活かして欲しいと思います。

健康スポーツ科学科

こども学科

電子黒板が導入されました



平成22年に、文部科学省から「教育の情報化に関する手引」が発行されており、そこからは、情報化を教育の質向上のために有効かつ重要な役割と考える今日の流れが読み解けます。こうした時代背景に後押しされながら、こども学科棟13号館3Fの多目的実習室に電子黒板が今年度より配置されました。4月初旬には、こども学科教員を対象としてこの電子黒板の活用研修会が行われ、使用方法の可能性を模索する中で、各教員がそれぞれの授業構想に胸を膨らませました。

小学校教員に必要なICT活用指導力とは、単に情報機器を活用した授業を実施できることだけではなく、情報モラルを指導できることも今や不可欠な資質です。不特定多数と簡単に繋がることのできるツールを用いているからこそ、その影響力や危険性について十分に認識しておく必要があります。身をもって実感してからでは遅い「致命的な事態」とならぬよう、今後より一層重視される教育的課題でしょう。

また、小学校教育だけでなく、幼児教育においてもその活用可能性は無限にあると言えます。しかしながら、手作りの味わいや子どもとのふれあい方などから、「何を電子化し、何を電子化しないでおくのか」といったことも、情報化が急速に進行中の今だからこそ考える必要がある課題であるかもしれません。

助教 杉野 本 勇 気

Topics 学科トピックス

経営学科

「資格試験情報室」を設置し、資格取得を強力にサポートしています



辛抱強い勉強のうえで取得した資格は、就職活動のうえで力になります。それだけでなく資格が取得できると、大きな達成感と満足感が得られ、物事に取り組む自信もつきます。そのため経営学科では、以前から学生に資格取得を勧め、支援をしてきました。

例えば、入学初年次には教養の基礎でもある「漢字」の「検定試験」受験を必須としています。2年次以上では、「難関資格」(日商簿記1級や2級、基本情報技術者試験や応用技術者試験)にチャレンジすることを勧め、その意欲のある学生に対しては、学科の教員が直接厳しく指導にあたる「チャレンジゼミ」をカリキュラムの一環として開講してきました。

ところが、この1、2年の動きとして意欲と関心の高まりから、経営学科では、学生の取得をめざす資格にも広がりがみられるようになってきました。また、学科でもキャリア開発の一環として、1年次の基礎演習時間に「漢字検定試験」以外に社会人としての基礎的教養を学習する「ビジネス能力検定ジョブパス」にも挑戦してもらっています。

そのため、①資格に関係する多様な資料を取り揃える、②資格取得をめざす学生に相談に乗り適切なアドバイスをする、あるいは③可能な資格試験については準会場として学内で試験を行うなどの、資格取得を総合的にサポートする窓口機能を担うものとして本年度設置したのが「資格試験情報室」です。経営学科では、これを機に資格の取得者が多様な分野に広がるとともに、取得者人数も拡大していくことを期待しています。

教授 村 社 隆

看護学科

看護学科4年生が地域住民を対象に健康教育を行いました。

近年、看護大学の急増により実習地の確保が困難である大学が多くを占めるなか、本学においては、幸いなことに看護学部4年生88名が、近隣の地域である福山市と尾道市で地域看護学実習を実施し、一人一人の学生が十分な実習指導を受けることができています。

地域看護学実習では、赤ちゃんからお年寄りまで、全ての人を支援の対象とし、健康課題を持つ個人・家族・集団・地域住民全体へのアプローチの方法について、健康診査や健康相談、家庭訪問、健康教育など各保健事業に実際に参加し、指導保健師や教員の助言を受けながら学んでいきます。写真は、学生が実習地で行った健康教育の場面です。

健康教育の内容を検討するにあたり、対象である地域住民が理解しやすい内容であること、説明する内容もきちんと暗記し、参加者の反応を確認しながら進めること、話す声の大きさやスピード等に注意して聞き取りやすくするなど考慮しました。学生は、指導保健師や教員に助言を受けながら、初めて地域住民を対象に健康教育を実施しました。健康教育の当日は、大変緊張していましたが、対象である母親や子どもが積極的に参加している様子や、保健師・保育士等のスタッフの温かい笑顔に支えられ、学生たちの手作りの健康教育は無事に終わりました。学生は、看護専門職の一員として、地域住民の健康づくりを支援することが出来たという喜びと達成感で、大変充実した実習だったと思います。



講師 林 田 馨

今月には、4年生はこれらの実習を終えますが、今後も就職試験、卒業研究、看護師・保健師国家試験の受験勉強等、色々と大変な毎日をお過ごしだと思います。今後、看護師や保健師の国家試験に合格し、豊かな感性と確かな知識と技術を備えた看護専門職として活躍することを期待しています。

児童福祉分野の就職拡大を目指して

福祉学科

現在、福祉学科では、主に社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士の資格取得のために、倫理を踏まえた社会福祉における専門的知識、技術を取得し、全人的ヒューマンケアを目標に福祉のプロの育成に取り組んでいます。

社会福祉コース、介護福祉コースの各々の専門性を深めるとともに幅広い人間力の育成のために、従来から行なっている認知症ライフパートナー、福祉住環境コーディネーター、福祉用具専門相談員の他、あらたに企業とのコラボでの介護職員初任者研修、医療事務など国家試験以外の資格取得可能な学習環境を整えています。

これまでの卒業生は高齢者福祉、障害者福祉分野の就職が中心でしたが、平成26年度から指定保育士養成施設の指定申請をしています。児童福祉分野の拡大により児童養護施設及び障害児施設、保育所など多様な分野への選択が可能となります。

本学科の学生が、より目的意識の高い専門職として自覚を持つことで、地域社会への貢献にも繋がっていくといえます。地域住民が安心して暮らせる生活をサポートできる人材育成を今後も目指します。新しい分野への更なる期待が膨らみます。

講師 加藤 友 野



平成25年度(2013年度) ■ 福山平成大学公開講座計画 ■

■ 目的

福山平成大学教員の研究の方向・成果を地域社会に広く公開し、地域の事業並びに生涯学習の一つとして市民生活の充実・発展に資する。

■ テーマ

少子高齢化時代の生き方～生きる力を育む～

■ 日時 全5回(9月12日, 19日, 26日, 10月3日, 10日)

■ 会場 福山平成大学 7号館7103教室

■ 受講対象者及び定員 一般市民 250名

■ 受講料 無料

■ 講座の概要

福山平成大学は、今日、相互に関連した3学部5学科を擁する大学になりました。

しかし5学科の専門領域は異なり、それぞれ独自の専門教育・研究に取り組んでいます。日本は少子高齢化社会を迎えています。変動する社会において、それぞれの年代(子どもから高齢者)でいきいきと健康で「生きる力」を育むことは人間の課題かもしれません。

そこで今年の公開講座では「少子高齢化時代」をめぐる問題・課題についてそれぞれの学科から独自のテーマを設定して、それぞれの立場から考えてみたいと思います。

今秋も、地域に根ざした大学としての役割を果たすため、以下の5つの講座を開講します。

第1回 9月12日(木)

高齢期を元気に生きる“こつ”

看護学科 木宮 高代 准教授

わが国においては急速に進む高齢社会で、経済的な側面ばかりがクローズアップされがちですが、最先端医療の研究が進み、これまで治せなかった病気に一条の光が差し込むようになってきました。一昔前には、夢物語であった「人生80年」という言葉が現実のものとなったのも、日本における高度な医療技術の発展が大きいといえます。

厚生労働省の調査(平成23年度簡易生命表)によると65歳まで生存する者の割合は、男性は86.9%、女性は93.1%、同様に、75歳までは男性は71.9%、女性は85.9%、90歳までは男性は21.3%、女性は45.5%が生存するという結果が示されています。同じ長生きをしても、病気に伏していたり、思うように動けないのでは、長生きの喜びも半減してしまいます。生きること喜び、幸せに感じられる、そんな生き方を貫くには、やはり「元気」がなによりも大切です。

世の中に、病気にならない人はいません。しかし、なるべく病気にならないように気をつけることは、だれにでもできるはず。今回の公開講座が「元気」で「長生き」できる「こつ」につながら、受講者のみなさまの末永い健康のために、「人生100年」の幸せを支える一助になれば幸いです。

第2回 9月19日(木)

超高齢・少子減少社会に生きる
～住み慣れた中山間の自宅で最期を迎えたい～

福祉学科 佐藤 皓一 教授

超高齢社会の到来、出生率の低下・少子化が叫ばれ、国の年金・医療をはじめとする社会保障制度の見直しが進められています。「負の財産を次世代に渡せない」といいながら、まるで高齢者の長寿が悪いような世代間対立を煽るコメントに心が痛みます。

平成23年に実施された人口動態統計結果を踏まえ、生産年齢人口(15歳～64歳)の年次変化や将来推計を基に、社会保障制度や地域の暮らしの影響について考察します。

こうした社会的変化の中で、生まれ育った地域・自宅で暮らし続けるための条件、とりわけ地方の市町村内で発生している生活基盤の崩壊がドーナツ現象として深刻化している点に注視しながら皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

第3回 9月26日(木)

異なる年齢層が参加する
英語文学読書会の楽しみ

経営学科 本田 良平 講師

本講では、地域住民の方々と行っている英語文学読書会での経験を、具体的なテキスト読解を交えてお話ししたいと思います。文学作品を読み解こうとすることは、自分とテキストの対話を深めることであり、その結果個々人が導き出す解釈には、必ず「自分」が出てくることになります。個々人で違うその解釈を皆で話し合うだけでも楽しいものですが、ましてや世代の違う方の解釈を伺うと、自分だけでは気付くことの出来なかった視点から作品を見直すことができ、しばしばそれは新鮮な体験となります。こうした経験をお話することで、少子高齢化時代において重要性を増してくる世代間・個人間交流の一つのあり方を探ることができればと考えます。

第4回 10月3日(木)

子どもの「学び」をとり戻し、「生きる力」を育む
～能力と内面活動の統一～

こども学科 田中 道治 教授

能力主義(テスト主義)を特徴とする学校教育のもとで子ども達は学びへの興味・関心をなくし、自信を失い、そして学ぶことから逃避し続けてきました。この詰め込み教育の反省から、協調性や思いやりの育成をねらいにした「心の教育」が強調されました。しかし、不登校・いじめあるいは教師の一方的教授活動は年々増加しています。子どもの学びを再構築するのは、今です。本講座ではアメリカ合衆国エール大学(心理学科)との共同研究を中心とした学びに関する発達モデルに着目し、「できる」「わかる」という能力的側面と、「やってみたい」「目標に向かう」「やり方の工夫」といった内面活動との結びつきを考察し、併せて教育指導の方向性を探ります。

第5回 10月10日(木)

教育は純粋な贈りもの
～学び・労働から逃避する若者へのメッセージ～

健康スポーツ科学科 小谷 寛二 教授

教育とは純粋な自然の贈与であると言われていました。換言すれば教育の価値を意味づけ、人と人とを結び合わせ、絆を深め、世界を共に切り開いていく惜しみない無償の行為です。教育がどれだけ大きな価値を生み出すのか、身にしみてわかっているはず。しかしながら教育サービスを貨幣と『等価交換』とみる子ども・若者そして親が、自分にとって都合の良い利益や利点に終始し、不快なことについては無関心で、学ばないこと、労働しないことを誇らしく思い、正当化し「オレ様化」してきています。予測がつかない経済より教育に力を発揮しなければ、日本の将来はありません。東日本大震災以後、大変な数の人々が犠牲となり、日本は深刻な打撃をこうむりました。今こそ、私塾の思想を持ち、教育にすべてのエネルギーと才能を集中しなければならないと考えます。

■ マナー向上キャンペーン ■

平成25年6月10日(月)～28日(金)の約3週間
“マナー向上キャンペーン”を実施しました。

今回は、喫煙者へのマナー向上・ゴミのポイ捨て禁止・自転車の駐輪マナー向上・学生の自動車乗入れ禁止の4点を中心に、マナー向上を呼びかけました。

学友会執行部や学生委員の呼びかけで、各サークル・各学科から代表者が多数ご参加いただき、多くの学生が積極的にキャンペーンを行うことができました。

学友会執行部を中心に各学科・各サークル代表者全員が力を合わせ、意欲的に活動を行ったことで、マナー向上に挙げた4点とも学生へ広く周知できたと感じます。

最終日は、参加者全員で学内および近隣の清掃活動を行いました。また、学生委員の先生方も協力して下さいました。お忙しいところ、本当にありがとうございました。



今後も学生が中心となり、マナー向上を目指すとともに、誰もが快適に過ごせるキャンパスにするためにも、継続してマナー向上キャンペーンを行っていきましょう!これからも、皆様のご協力をお願いします。

平成25年度 福山平成大学一般奨学生 認定式



福山平成大学一般奨学生が前年度の成績を基に、一般奨学生選考会で選考され、本年度は16名が採用されました。一般奨学生認定式では、田口学長から学生一人ひとりに認定書が手渡されました。

平成25年度 一般奨学生

経営学科	2年生次	1名
	3年生次	2名
福祉学科	2年生次	1名
こども学科	2年生次	1名
	4年生次	1名
健康スポーツ学科	3年生次	2名
	4年生次	3名
看護学科	2年生次	3名
	3年生次	1名
	4年生次	1名

平成25年度 保証人懇談会 開催

本学では、例年、学習状況・生活態度等について保証人と教員との個別懇談会を行っていましたが、昨年の「不景気」で学生の就職活動が早まっている状況を踏まえて、昨年度から就職関係をプラスすることとなり、懇談会の中身がより一層充実したもので教員と保証人の方の懇談ができるようになりました。

また、より多くの保証人の方に出席していただけるように懇談会の開催を土曜日及び日曜日に設定いたしました。

開催日	開催地	会場
8月25日(日)	広島	広島ガーデンパレス
8月25日(日)	福岡	福岡リーセントホテル
9月 8日(日)	松江	サンラポーむらくも
8月31日(土)	福山	福山平成大学
9月 1日(日)	福山	福山平成大学

平成25年度 サークル活動記録

2013/06/11現在

男子バレーボール部				
第77回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会（1部）	4/20～5/12	岡山県桃太郎アリーナ 他	2位	
第57回中国四国学生バレーボール選手権大会	5/24～5/27	松山大学 御幸キャンパス	2位	
第39回西日本バレーボール大学男子選手権大会	6/19～6/23	兵庫県立総合体育館	ベスト8	
女子バレーボール部				
第77回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会（1部）	4/20～5/12	岡山県桃太郎アリーナ 他	4位	
第57回中国四国学生バレーボール選手権大会	5/24～5/27	松山大学 御幸キャンパス	敗退（決勝トーナメント2回戦）	
第39回西日本バレーボール大学女子選手権大会	6/27～6/30	広島立総合体育館	ベスト16	
陸上競技部				
第67回中国四国学生陸上競技対校選手権大会	5/18～5/20	香川県丸亀陸上競技場	やり投げ 4×400m	第3位 小坂 海登（健2） 第4位 夏木 恭平（健4） 盆子原 良太（健4） 林 翔太（健4） 清水 宅麻（健3）
サッカー部				
2013年度中国大学サッカーリーグ（1部）	4/24～11/10	福山平成大学サッカー場 他	9位（全10チーム18試合中9試合消化）	
2013年度中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯予選	5/18～5/26	鳥取県	出場	
剣道部				
第60回中四国学生剣道選手権大会	5/19	愛媛県武道館	個人戦	ベスト32 渡邊 太基（こ2）
ソフトテニス部				
第35回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会	5/1～5/5	広島県竹ヶ端運動公園 テニスコート	団体／男子 1部	第3位 女子 1部 優勝
第57回中国学生ソフトテニス優勝大会			個人／女子	優勝 箱崎 優里（経2）・竹縄 菜摘（健2）
第15回ソフトテニスシングルス選手権大会			第3位	岡崎 優（健4）・大江 なつみ（こ4）
			第3位	須藤 瑞貴（健3）・大江 茜（健1）
第33回全日本大学ソフトテニス王座決定戦	6/4～6/6	東京体育館	シングルス男子 シングルス女子	第3位 境垣内愛都（こ4） 優勝 箱崎 優里（経2） 準優勝 須藤 瑞貴（健3）
第33回全日本大学ソフトテニス王座決定戦	6/4～6/6	東京体育館	女子／団体	予選リーグ敗退
軟式野球部				
第18回中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦	3/15～5/20	東広島アクアスタジアム他	優勝	
第36回全日本大学軟式野球選手権大会	8/10～	長野県長野市	出場	
ボクシング部				
第40回中国大学ボクシング選手権大会	5/31～6/2	広島市中区スポーツセンター	ウェルター級	優勝 福田 将生（健4）
新体操部				
第55回関西学生体操選手権大会	4/13～4/14	花園大学	出場	
カヌー部				
第34回中国カヌーレガッタ	5/4	八千代湖カヌーコース	成年男子カヤックペア 成年男子カヤックシングル	優勝 野口 孝一（健3）・大下 公平（健2） 準優勝 立平 諒（健4） 第3位 野口 孝一（健3）
学友会執行部				
第39回学長杯争奪競技大会	4/21	福山平成大学キャンパス		
マナー向上キャンペーン	6/10～6/28	福山平成大学キャンパス		

全国大会出場

第33回全日本大学ソフトテニス

王座決定戦に出場



この度、第35回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会において、団体戦で優勝、4連覇を達成し、第33回全日本大学ソフトテニス王座決定戦に出場権を獲得することができました。

第35回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会では、福山平成大学ソフトテニス部のストロングポイントである、粘り強さと元気なテニスをするのができ、近年勢力を増した岡山大学を倒すことができました。部の歴史は浅いかもしれませんが、日頃から全国大会出場を目標に部員全員で支え合い、チームが一つとなった結果だと思っています。

全日本大学ソフトテニス王座決定戦の舞台でも、選手・応援団が一つとなり、予選突破は出来ませんでした。中国地区代表として福山平成大学のテニスをするのができたと感じています。全国大会に出場した経験を通して、チームが一つとなることの大切さ、最後まで諦めない粘り強さ等、様々なことを学ぶことができました。

これからも、ソフトテニス部全員が努力と感謝の気持ちを忘れず、全力で挑戦していきたいと思っています。これからも応援の程よろしく願います。



第36回全日本大学軟式野球

全日本選手権大会に出場



この度、軟式野球部は第十八回中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦でリーグ優勝を果たし、四年連続六回目の全日本選手権大会への出場権を掴みました。また中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦初となる六季連続での優勝となりました。

今回の全日本選手権大会は長野県で行われ大会初日の第一試合、沖縄代表沖縄国際大学と対決となりました。

昨季出場した全日本選手権大会では優勝を目標に掲げたものの惜しくも一回戦敗退となりました。その悔しさ、先輩方の思いを胸に日々厳しい練習に励み今回のリーグ戦を戦い抜きました。苦しい戦いが続きましたが監督、部員、マネージャー、野球部全員で力強い優勝を果たしました。

このことは応援していただいている方々、支援をしていただいている方々の期待と先輩方の思いに結果という形で少しでも返すことができました。しかしそれだけで満足はしていません。中国勢初となるベスト4に食い込み更なる躍進をしていきたいと思っています。

全国の舞台を全力で楽しんで勝てるようにさらに練習に励み、平成大学軟式野球部らしく一丸となり戦ってまいります。応援の程、よろしく願います。



貸借対照表		(単位 円)	
資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	60,855,703,811	負債の部	
有形固定資産	29,971,833,164	固定負債	2,380,257,198
うち土地	6,885,223,494	うち長期借入金	786,140,000
うち建物	14,572,804,014	うち退職引当金	1,571,139,070
うち構築物	970,731,371	うち長期未払金	22,978,128
うち教育研究機器備品	2,970,785,621	流動負債	2,635,286,045
うちその他の機器備品	24,223,316	うち短期借入金	159,550,000
うち図書	4,491,863,152	うち未払金	63,161,014
うち車両他	15,518,196	うち前受金	2,309,881,293
建設仮勘定	40,684,000	うち預り金	102,693,738
その他の固定資産	30,883,870,647	負債の部合計	5,015,543,243
うち退職金引当資産	1,542,016,830	基本金の部	
うち減価償却引当資産	14,871,208,385	第1号基本金	48,581,878,189
うち校舎建設等引当資産	8,321,176,791	第4号基本金	407,000,000
うち創設準備引当資産	6,112,604,965	基本金の部合計	48,988,878,189
うち保証金他	36,863,676		
		消費収支差額の部	
流動資産	5,522,597,960	翌年度繰越収入超過額	12,373,880,339
うち現預金	5,065,080,416		
うち未収入金他	457,517,544	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	66,378,301,771
資産の部合計	66,378,301,771		

貸借対照表			
科目説明(科目は抜粋)			
資産の部			
大科目	中項目	小科目	備考
固定資産			
	有形固定資産		貸借対照表日後1年を超えて使用される資産をいう。耐用年数が1年未満になっているものであっても使用中のものを含む。
		建物	建物に附属する電気、給排水、暖房等の設備を含む。
		構築物	庭園等の土木設備又は工作物をいう。
		教育研究用機器備品	標本及び模型を含む。
その他の固定資産			
		電話加入権	加入電話等の設備負担金額をいう。
流動資産			
	未収入金		学生生徒等納付金、補助金などの貸借対照表日における未収入額をいう。
		有価証券	一時的に保有する有価証券をいう。

科目説明(科目は抜粋)			
負債の部			
大科目	小科目	備考	
固定負債			
	長期借入金		その期限が貸借対照表日後1年を超えて到来するものをいう。
	退職給与引当金		退職給与規程等による計算に基づく退職給与引当額をいう。
流動負債			
	短期借入金		その期限が貸借対照表日後1年以内に到来するものをいう。
	預り金		教職員の源泉所得税、共済掛金等の預り金をいう。

平成24年度決算について(概要)

I 資金収支計算書

平成24年度の収支状況を資金収支の流れで見ると、当該年度の収入額は、77億8,293万5,352円、これに前年度より繰り越された51億3,812万4,045円を加えると収入の部の合計は、129億2,105万9,397円となった。

一方、支出額は、人件費、教育研究費、管理経費、施設関係、設備関係等、78億5,597万8,981円であったので、差し10億6,508万円416円が次年度への繰越支払資金となり、昨年度より7,304万3,629円減少した。

II 消費収支計算書

平成24年度の消費収支決算の概要について予算との対比で説明すると、収入は手数料、補助金、資産運用収入、雑収入において予算額を上回った。

これらの結果、帰属収入合計では、予算を5,776万8,426円上回る61億8,417万4,426円となった。

また、基本金への組入額は、両大学の無線LANシステム等の機器備品・図書等の購入などにより1号基本金である。

一方、支出では、教育研究経費、管理経費ともに予算額を下回り消費支出合計額は、67億2,727万5,857円となった。

以上より、平成24年度は消費支出超過額が8億5,745万8,436円となった。前年度繰越消費収入超過額と合算して翌年度繰越消費収入超過額が123億7,388万339円となった。

III 貸借対照表

学校法人の財政状態を貸借対照表によって説明すると、平成24年度末現在の資産の総額は、663億7,830万1,771円となった。その内訳は有形固定資産299億7,183万3,164円、その他の固定資産308億8,387万647円及び流動資産55億2,259万7,960円(内未収入金3億5,096万7,960円)となった。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金等固定負債及び流動負債を合計して50億1,554万3,243円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第1号機本金が485億8,187万8,189円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第4号基本金が4億7,000万となっている。

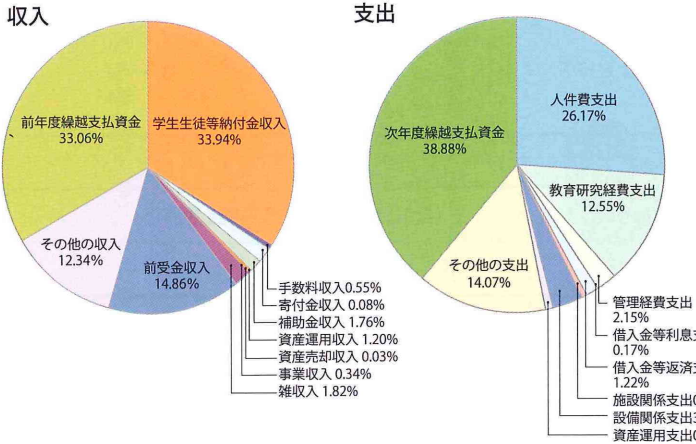
消費収支差額の部は、123億7,388万339円の翌年度繰越消費収入超過となった。

財産目録		(単位 円)	
I 資産		66,378,301,771	
1. 固定資産		60,855,703,811	
土地	大学敷地他	337,887㎡	6,885,223,494
建物	大学校舎他	145,742㎡	14,572,804,014
構築物	道路舗装外		970,731,371
教育研究用機器備品	パソコン他		2,970,785,621
その他の機器備品	学生寮厨房機器他		24,223,316
図書			4,491,863,152
車両			15,518,096
船舶			100
建設仮			40,684,000
電話加入権			3,048,426
施設利用権			600
保証金			33,510,650
敷金			304,000
退職給与引当特定資産			1,542,016,830
減価償却引当特定資産			14,871,208,385
校舎建設等引当特定資産			8,321,176,791
創設準備引当特定資産			6,112,604,965
2. 流動資産		5,522,597,960	
現金・預金		5,065,080,416	
未収入金		350,967,933	
有価証券		81,265,966	
前払金		25,249,353	
仮払金		34,292	
II 負債		5,015,543,243	
1. 固定負債		2,380,257,198	
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		786,140,000
退職給与引当金			1,571,139,070
長期未払金			22,978,128
2. 流動負債		2,635,286,045	
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		159,550,000
未払金			63,161,014
前受金			2,309,881,293
預り金			102,693,738
III正味財産（I－II）		61,362,758,528	

監査報告書	
平成23年5月26日	
学校法人 福山大学	
理事長 清水厚寛 監 評議員会 議長 殿	
学校法人 福山大学	
監 事 安部 昇	
監 事 村上 俊二	
私たちは、学校法人福山大学の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同法人の平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書を含む、学校法人の業務及び財産に関し監査を行った結果、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令に反する不正行為)に違反する重大な事実の無いことを認めました。	
注 記	

平成24年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書		(平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位 円)	
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,274,731,024	人件費支出	3,409,341,773
手数料収入	85,436,120	教育研究経費支出	1,635,543,377
寄付金収入	13,135,500	管理経費支出	280,111,615
補助金収入	274,184,085	借入金等利息支出	21,739,124
資産運用収入	186,850,614	借入金等返済支出	159,550,000
資産売却収入	5,034,186	施設関係支出	89,876,707
事業収入	52,465,000	設備関係支出	428,554,596
雑収入	283,320,913	資産運用支出	104,163,875
前受金収入	2,309,881,293	その他の支出	1,833,144,790
その他の収入	1,917,217,540	資金支出調整勘定	△ 106,046,876
資金収入調整勘定	△ 2,619,320,923	次年度繰越支払資金	5,065,080,416
前年度繰越支払資金	5,138,124,045		
収入の部合計	12,921,059,397	支出の部合計	12,921,059,397



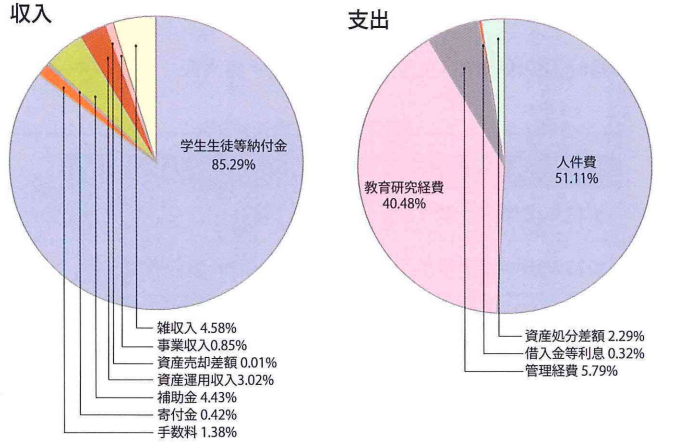
資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていないませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目説明(科目は抜粋)			
収入の部(主なもの)			
大科目	小科目	備考	
学生生徒等納付金収入	授業料収入	各種講座料等を含む	
	実験実習料収入	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む	
手数料収入	入学検定料収入	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入	
	試験料収入	再試験等のために徴収する収入	
	証明手数料収入	在学証明等の証明のために徴収する収入	
寄付金収入	特別寄付金収入	主に研究助成を用途とした寄付金	
補助金収入	国庫補助金収入	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む	
資金運用収入	受取利息・配当金収入	預金利息、債券の利金	
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入	
	受託事業収入	受託研究料	
前受金収入	授業料前受金収入	翌年度の学生生徒等にかかる学生生徒等納付金収入	
	補助活動前受金収入	翌年度の学生寮の寮費収入	
その他の収入	前期末未収入金収入	前会計年度における未収入金の当該会計年度における収入	

支出の部(主なもの)		
大科目	小科目	備考
人件費支出	教員人件費支出	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費支出	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費支出	奨学費支出	奨学生の奨学金
施設関係支出	構築物支出	庭園等の土木設備又は工作物をいう。

消費収支計算書		(平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位 円)	
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	5,274,731,024	人件費	3,438,284,737
手数料	85,436,120	教育研究経費	2,723,388,319
寄付金	26,197,343	管理経費	389,722,767
補助金	274,184,085	借入金等利息	21,739,124
資産運用収入	186,925,349	資産処分差額	154,140,910
資産売却差額	914,592		
事業収入	52,465,000		
雑収入	283,320,913		
帰属収入合計	6,184,174,426		
基本金組入額	△ 314,357,005		
消費収入の部合計	5,869,817,421	支出の部合計	6,727,275,857
		当年度消費収支差額	△ 857,458,436



消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度に帰属する収入から、基本金として支出した金額を控除した消費収入と人件費や教育研究経費などの消費支出を対比し、その均衡状況を示すとともに学校法人の経営状況を明らかにするものとされています。企業会計の損益計算書に近いものですが、損益計算書では計上対象とならない資本的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が異なります。

科目説明(科目は抜粋)			
収入の部(主なもの)			
大科目	小科目	備考	
学生生徒等納付金	授業料	各種講座聴講料等を含む	
	実験実習料	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む	
手数料	入学検定料	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入	
	試験料	再試験等のために徴収する収入	
	証明手数料	在学証明等の証明のために徴収する収入	
寄付金	特別寄付金	主に研究助成を用途とした寄付金	
補助金収入	国庫補助金	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む	
資金運用収入	受取利息・配当金	預金利息、債券の利金	
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入	
	受託事業収入	受託研究料	
雑収入		学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいう	

支出の部(主なもの)		
大科目	小科目	備考
人件費	教員人件費	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費	奨学費	奨学生の奨学金
	減価償却費	教育研究用減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
管理経費	減価償却費	教育研究用減価償却資産以外の減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
資産処分差額		資産の帳簿残高が当該資産の売却収入金額を超える場合のその超過額をいい、除却損または評価損含む。

平成26年度 入学試験日程

AO入試

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
I 期	10月 5日(土)	経営 福祉健康	9月24日(火)～10月 1日(火)	10月10日(木)	10月18日(金)
II 期	12月14日(土)		12月 2日(月)～12月10日(火)	12月18日(水)	12月27日(金)
III 期	3月13日(木)		3月 3日(月)～ 3月10日(月)	3月18日(火)	3月26日(水)
●エントリーシートの提出		I 期 8月 1日(木)～9月 2日(月)	II 期 10月 7日(月)～11月 8日(金)	III 期 1月 6日(月)～2月 8日(土)	
●面談結果通知		I 期 9月20日(金)	II 期 11月29日(金)	III 期 2月27日(木)	

一般選抜試験

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
推薦入試 A 日程	11月7日(木)・8日(金)	全学部	10月12日(土)～11月 1日(金) 消印有効	11月13日(水)	11月22日(金)
推薦入試 B 日程	12月7日(土)	全学部	11月25日(月)～12月 3日(火) 消印有効	12月12日(木)	12月26日(木)
前期入試 A 日程	1月31日(金)・2月1日(土) 2月 2日(日)・3日(月)	全学部	1月 6日(月)～ 1月25日(土) 消印有効	2月 8日(土)	2月20日(木)
前期入試 B 日程	2月21日(金)	全学部	2月 4日(火)～ 2月17日(月) 消印有効	2月25日(火)	3月 5日(水)
後期入試	3月14日(金)	全学部	2月26日(水)～ 3月10日(月) 消印有効	3月18日(火)	3月26日(水)
センター利用入試(前期)	個別学力試験は課さない	全学部	1月 6日(月)～ 1月25日(土) 消印有効	2月 8日(土)	2月20日(木)
センター利用入試(後期)	個別学力試験は課さない	全学部	2月26日(水)～ 3月10日(月) 必 着	3月18日(火)	3月26日(水)

※備考：平成26年度 大学入試センター試験日程 1/18(土)・1/19(日)



- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

御幸五訓

Open Campus オープンキャンパス

本学では、高校生や保護者の方に、学内の施設見学や模擬講義、実習・演習を体験してもらうために、6月29日(土)から見学会および体験入学会を実施しております。「見学会」では、全天候型陸上競技場や人工芝サッカー場を始め、34種47台のマシンを設置してあるトレーニングルーム、2棟ある体育館、最新設備の整った看護学部棟、一昨年度末竣工したこども学科棟などの施設見学を主に行います。また「体験入学会」では、全体会で入試日程や入試方法の説明が行われた後、各学科に分かれて模擬授業らびに模擬実習・演習を行います。各学科での模擬実習・演習では、本学学生も参加し、高校生にも分かり易いよう、親切丁寧に指導していきます。なお、オープンキャンパスは、下記の日程で実施されています。

- 見学会 第2回 9月 7日(土)
- 体験入学会 第1回 7月27日(土)
- 第2回 8月24日(土)

